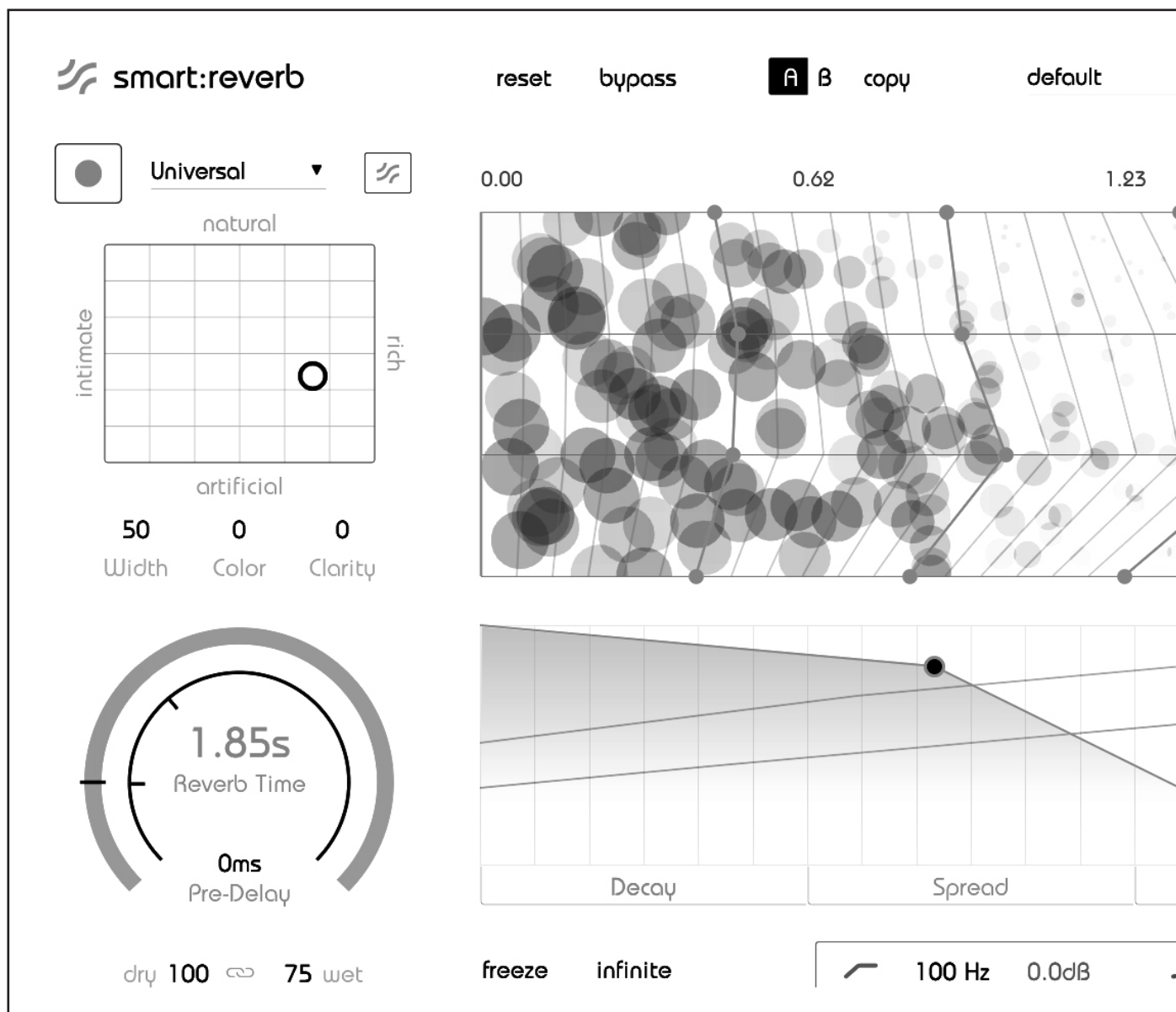


smart:reverb マニュアル

ソースに適応するリバーブ



The screenshot displays the smart:reverb software interface. At the top, the title "smart:reverb" is shown with a logo, and navigation buttons for "reset", "bypass", "A B", "copy", and "default" are visible. Below the title, a "Universal" dropdown menu is set to "natural". A 5x5 grid control is used to adjust the reverb character, with "intimate" on the left, "rich" on the right, "artificial" at the bottom, and "natural" at the top. The grid shows a white circle at the intersection of the second row from the bottom and the second column from the right. Below the grid, three sliders are shown: "Width" at 50, "Color" at 0, and "Clarity" at 0. A large circular knob is set to "1.85s Reverb Time", with "0ms Pre-Delay" indicated below it. At the bottom, a "dry/wet" control is set to 100 dry and 75 wet. On the right side, a frequency response graph shows a curve with a peak at 0.62 Hz and a dip at 1.23 Hz. Below the graph, "Decay" and "Spread" parameters are visible. At the very bottom, a "freeze/infinite" control is set to "freeze", and a frequency filter is set to "100 Hz 0.0dB".

目次

smart:reverbへようこそ	3
インストール	4
オーソライズ	5
ユーザーインターフェイス	6
グローバルリバーブコントロール	7
グローバルリバーブコントロール	8
カスタムテーラードリバーブ	9
リバーブマトリクス	10
パーティクル表示	11
テンポラルシェイパー	12
スペクトラルシェイパーグリッド	13
プリフィルターEQ	14
設定	15



smart:reverbへようこそ

smart:reverbは、ソースに適応するソースアダプティブリバーブプラグインです。入力ソースの特性に合わせて処理を調整するカスタムテーラードリバーブを提供します。さらに、smart:reverbは、直感的に操作可能なリバーブマトリクスを作成し、素早く適切なサウンドを見つけることができます。

同じオーディオトラックは2つとないため、smart:reverbの処理は各信号の個性に焦点を当てます。ワングリックでソースを分析し、それぞれのリバーブをゼロから作り上げます。入力信号のスペクトルや時間的特性に合わせてリバーブをカスタムフィットさせることで、邪魔なレゾナンスや濁ったリバーブテールといった典型的な問題をはじめから回避することができます。

同時に、smart:reverbは入力信号に合わせて様々なスタイルのリバーブマトリクスを提供します。そのため、ユーザーは何百ものプリセットから探すことなく、自分のクリエイティブなビジョンに最も適したスタイルをすぐに見つけることができます。

最大限のコントロールのために、このプラグインはリバーブの構造をインタラクティブに表示することができます。詳細なインターフェイスにより、リバーブの周波数や減衰率、拡散、密度の時間経過に伴う変化を調整し、リバーブの深い構造を簡単に操作することができます。

インストール

システム要件

CPU	Intel Core i5
RAM	4GB
オペレーティングシステム	Windows 10 (64ビット) Mac OSX 10.12以上



プラグインを正常にインストールするためには、管理者権限が必要です。

Windows

インストールを開始するには、ダウンロードしたzipファイルを解凍してください。 [sonible_smartreverb_1.0.0.zip](#)をハードディスクに保存し、インストーラーを実行してください。

インストーラーがsmart:reverbをパソコンにインストールするために必要な手順を案内してくれます。

インストール時に、smart:reverbのどのバージョンをインストールするかを選択できます。また、VSTバージョンのカスタムインストールフォルダを選択するか、インストーラーが提案するデフォルトフォルダを使用することができます。

VST3版とAAX版のプラグインは、それぞれのデフォルトフォルダに自動的にインストールされます。

デフォルトフォルダ:

VST3

C:\Program Files\Common Files\VST3\

VST

C:\Program Files\Common Files\VST\

AAX

C:\Program Files\Common Files\Avid\Audio\Plug-Ins

Mac OSX

インストールを開始するには、ディスクイメージ [sonible_smartreverb_mac_1.0.0.dmg](#)を開いてください。これによりイメージがマウントされ、インストールパッケージの内容が表示されたFinderウィンドウが開かれます。

smart:reverbをシステムにインストールするには、インストールファイル[smartreverb.pkg](#)を実行してください。

インストーラーはsmart:reverbをコンピュータにインストールするために必要な手順を案内します。 [smart:reverb](#)はオーディオプラグインのデフォルトの場所に自動的にインストールされます。

デフォルトフォルダ:

Audio Unit

/Library/Audio/Plug-Ins/Components/

VST

/Library/Audio/Plug-Ins/VST/

VST3

/Library/Audio/Plug-Ins/VST3/

AAX

/Library/Application Support/Avid/Audio/Plug-Ins/

オーソライズ

ライセンス方式

ライセンス方式は、マシンベースとiLok(USB dongle)の2種類から選択可能です。

www.sonible.comでユーザーアカウントを作成し、製品を登録することで、ダッシュボードにまだ表示されていない製品のプラグインアクティベーションを管理することができます。

マシンベース

ライセンスキー1つでsmart:reverbを、固有のシステムIDを持つ2台のコンピュータにインストールすることができます。これらのシステムIDは、ライセンス認証の際に登録されます。

同じライセンスを複数のユーザーで使用することができますが、各ユーザーが自分のアカウントでsmart:reverb製品版のロックを個別に解除する必要があります。

システムIDが変更された場合(例:ハードドライブの交換など)、sonibleユーザーアカウントのダッシュボードで該当するシステムIDの隣にあるプラグインの取り消し/アクティベート(revoke/Activate)を行うことができます。

iLok

1つのアクティベーションをiLokに転送したい場合、まずプラグインがsonibleユーザーアカウントに登録されていることを確認します。ダッシュボードのプラグインの横にある「transfer to iLok」ボタンをクリックし、指示に従って操作してください。

注意:第1世代iLok dongleとiLokクラウドは現在サポートされていません。

ロック解除

smart:reverbのライセンスをオンラインで購入された方には、ライセンスキーをメールでお送りします。

マシンベースでのロック解除

smart:reverbを初めて起動すると、有効なライセンスキーでsmart:reverbのロックを解除するよう求める通知ウィンドウが表示されます。

登録作業を開始する前に、パソコンがインターネットに接続されていることを確認してください。

ライセンスキーを入力して、「register.」をクリックします。プラグインは、ライセンスが有効かどうかを確認するために弊社サーバーと通信します。ライセンスが有効であれば完了です。お楽しみください!

iLok

ライセンスをiLokに転送した場合は、iLokをコンピュータに接続するだけでプラグインは自動的に登録され、お楽しみいただけます!

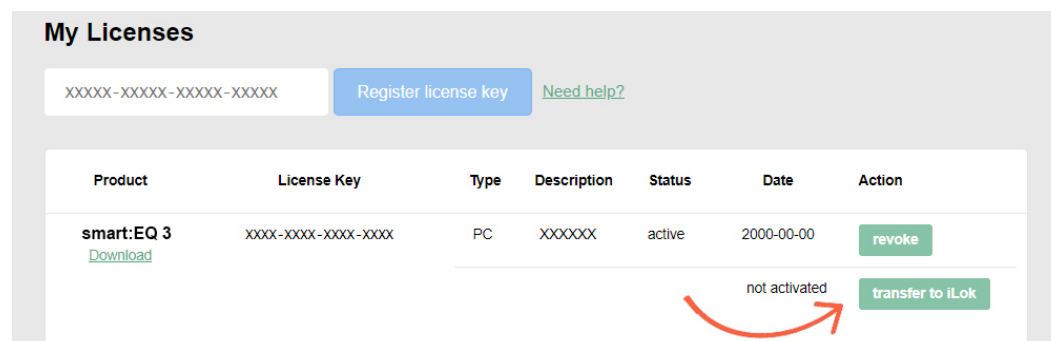
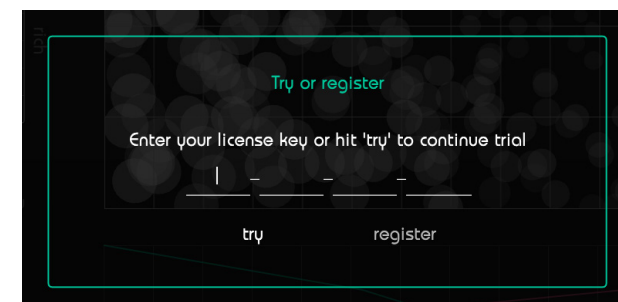
体験版

デモモードでsmart:reverbを実行するには、「try」をクリックするだけで、数日間、制限なくsmart:reverbを使用することができます。(現在のsmart:reverbのデモ期間については、弊社ウェブサイトをご参照ください。)

デモ期間が終了した場合、プラグインを継続して使用するためには正規ライセンスを購入する必要があります。

インターネット接続の条件

sonibleプラグインは、試用期間中と最初のライセンス認証時にのみインターネットに接続する必要があります。試用期間中は、プラグインを使用するたびにインターネットに接続する必要があります。プラグインのライセンスが正常にアクティベートされると、インターネット接続は不要になります。



ユーザーインターフェイス

学習セクション

トラックに合わせたリバーブを学習、呼び出すことができます。

リバーブマトリクス

リバーブマトリクスをXYパッドとして使用し、さまざまなリバーブスタイルを直感的にブラウズすることができます。

リバーブキャラクター

リバーブの幅、透明度、カラーを手動で細かく調整することができます。

リバーブコントロール

リバーブタイムとプリディレイを設定できます。

ステートハンドリング

パラメータ設定の異なる状態を保存して、簡単にA/B比較やカスタムプリセットの保存ができます。

エフェクト

現在のリバーブテールをフリーズしたり、無限のリバーブタイムを有効にして、サウンドレイヤーを作成することができます。

設定

設定画面にアクセスします。

パーティクル表示

リバーブの構造と異なる周波数帯域での現在のアクティビティをモニターします。学習プロセス後、インタラクティブなスペクトルシェイパーグリッドを使用して、異なる帯域の減衰率を自由に調整することも可能です。

テンポラルシェイパー

リバーブの減衰、拡散、密度の時間経過による変化をモニターすることができます。学習プロセス後、インタラクティブなシェイパーラインを使って時間によって変化する挙動を自由に調整することができます。

フィルターセクション

プリフィルターEQを適用して、信号のスペクトル形状を素早く調整します。



グローバルリバーブコントロール

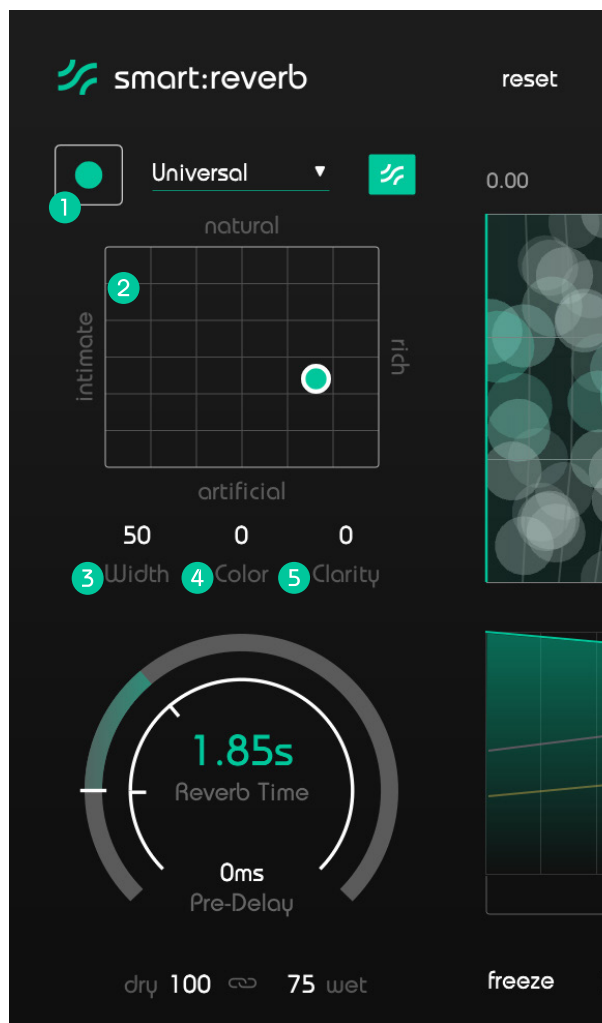
ユーザーインターフェースの左側セクションには、新しいリバーブの学習プロセス開始やすべてのグローバルリバーブパラメータを変更するために必要なすべてのコントロールが用意されています。

1 プロファイル&学習

smart:reverbはソース適応機能なしで利用できますが、学習プロセスから始めることを強くおすすめします。これによりsmart:reverbの処理がオーディオ素材に適応され、すべての詳細なリバーブコントロールが有効になります。学習プロセスの詳細については、9ページを参照してください。

2 リバーブマトリクス

リバーブマトリクスは、さまざまなリバーブスタイルをカバーするパラメータスペースです。各スタイルの意味通りに従って、XYパッドで簡単にナビゲートすることができます。XYパッドを移動することで、パーティクル表示(11ページ参照)やテンポラルシェイパー(12ページ参照)内のリバーブの構造がリアルタイムで変化する様子を確認することができます。リバーブマトリクスの詳細については、10ページを参照してください。



3 幅

ステレオフィールド内のリバーブエフェクトの知覚幅を制限または拡大します。

4 カラー

リバーブの音を暗くするか、明るくするかを決定します。

5 透明度

リバーブエフェクトの透明度を高めるために元の音源成分を露出させます。

グローバルリバーブコントロール

5 リバーブタイム

リバーブタイムを設定します。リバーブタイムは、リバーブテールが60dB減衰するまでの時間の長さです。リバーブタイムを変更すると、現在のリバーブエフェクトとその内部の時間的、スペクトル的構造が変化します(拡張または縮小)。

6 プリディレイ

プリディレイを設定します。プリディレイとは、元のドライな音から初期反射音が聞こえるまでの時間の長さを指します。

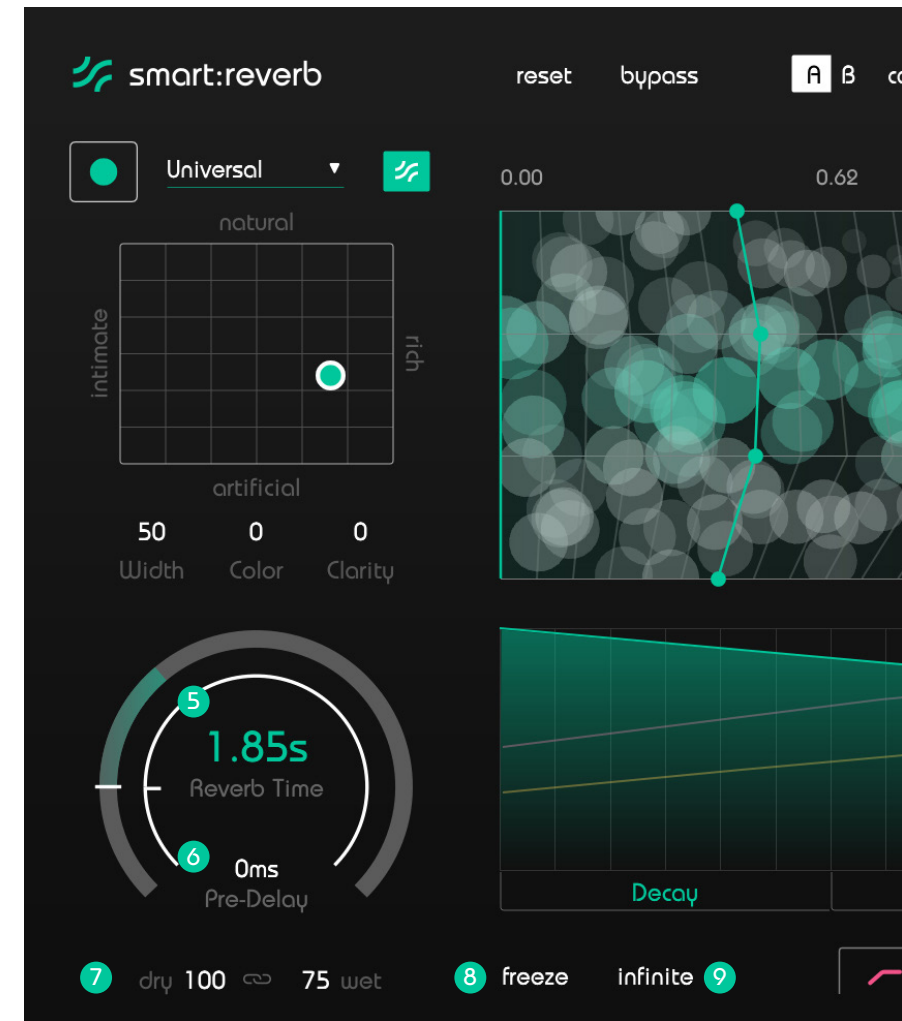
7 ドライ/ウェット

ドライ(ダイレクト)信号とウェット(リバーブ音)信号をミックスします。smart:reverbをインサートエフェクトとして使用する場合は、通常、両方の信号をミックスすることが望ましいです。smart:reverbをSENDエフェクトとして使用する場合、DAWのミキサー内でドライ信号とミックスされるため、100%ウェット信号として使用することができます。

2つのパラメータを比例して(常に合計が100%になるように)変更したい場合は、チェーンリンクアイコンを有効にします。

8 フリーズ

フリーズをクリックして、現在のリバーブテールをキャプチャします。これにより、リバーブエフェクトのレイヤーサウンドが作成されます。



9 インフィニット

インフィニットをクリックすると、リバーブタイムが無限になります。この設定は、現在のリバーブタイムの設定を上書きします。無効にすると、設定したリバーブタイムに戻ります。

カスタムテーラードリバーブ

完璧なリバーブエフェクトのような主観的なものを自動的に生成することは不可能ですが、smart:reverbのインテリジェントな処理により、プラグインが計算するすべてのリバーブが入力信号のスペクトルと時間の特性に適合することができます。これにより、邪魔なレゾナンス、濁ったリバーブテール、合わないリバーブといった問題を最初から回避することができます。

1. プロファイルを選択

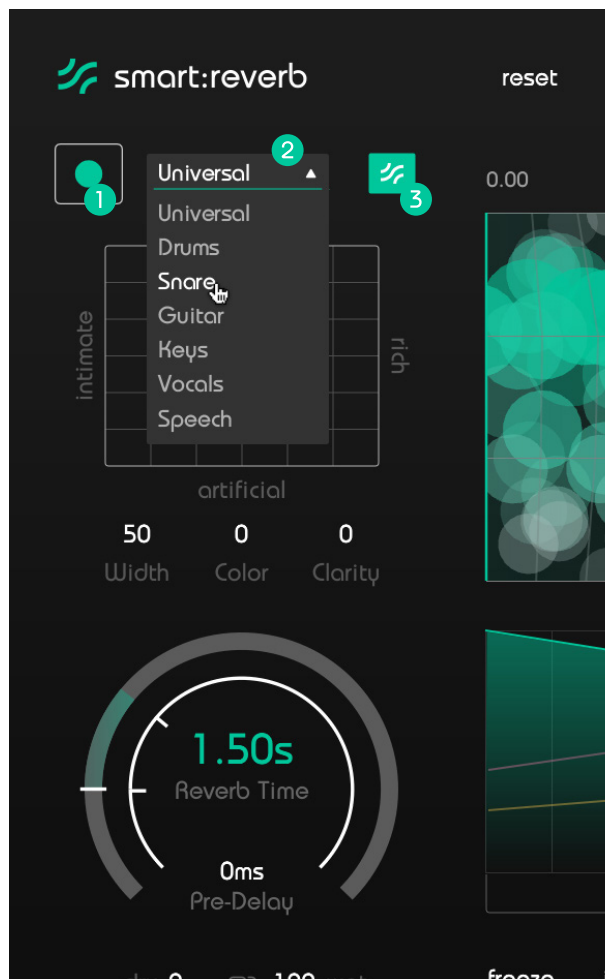
プロファイルは、smart:reverbの処理を特定のサウンドソースに合わせて調整するためのものです。「Universal」プロファイルで学習プロセスを開始し、後でより特定のプロファイルに切り替えることができます。

2. オーディオを再生して学習を開始

smart:reverbは、学習プロセスのために、オーディオ素材の入力が必要です。再生が開始されたら、緑色の録音ボタンをクリックします。脈打つ一時停止アイコンとプロファイルドロップダウン内の進捗バーは、smart:reverbが分析していることを示します。

3. 完了!

学習プロセスが完了すると、smart:reverbは学習したすべてのパラメータを自動的に設定し、リバーブマトリクスは信号に合わせて調整され(10ページ参照)、スペクトラルシェイパーグリッド(13ページ参照)とテンポラルシェイパー(12ページ参照)は有効になっています。



1 学習

録音ボタンをクリックすると、学習の開始および一時停止ができます。学習中は、録音ボタンの代わりに一時停止マークが表示されます。

2 プロファイルドロップダウン

ドロップダウンメニューを展開し、オーディオ素材に最適なプロファイルを選択します。

3 スマートステートボタン

このボタンは、現在スマートステート(学習プロセスが完了した状態、ボタンが緑色)か、1つまたは複数のパラメータが手動で変更された状態(ボタンが黒色)かを示します。

リバーブマトリクス

トラックに適したリバーブを見つけるのは、時間がかかる困難な作業で、多くの場合、何十ものプリセットから探し出す必要があります。smart:reverbは、クリエイティブなフローを維持するために、正しいスタイルのリバーブを見つける新しい方法、リバーブマトリクスを搭載しています。

リバーブマトリクスは、さまざまなリバーブスタイルをカバーするパラメータスペースです。XYパッド機能および4つのスタイルで、簡単かつ効率的に探索することができ、クリエイティブなビジョンにマッチするリバーブスタイルを見つけることができます。

インティメイト

インティメイトなリバーブは、サウンドに暖かさとパーソナルなタッチを与えます。ソフトなボーカルやソロ楽器を扱う場合に最適で、比較的小さく、少しアットホームな場所で録音されたかのようなサウンドになります。

リッチ

リッチなリバーブは、豊かで多層的なサウンドを作り出します。例えば、シンセパッドやオーケストラサウンドを扱うときなど、信号を密度高く鮮やかなリバーブに完全に浸したい場合に最適です。

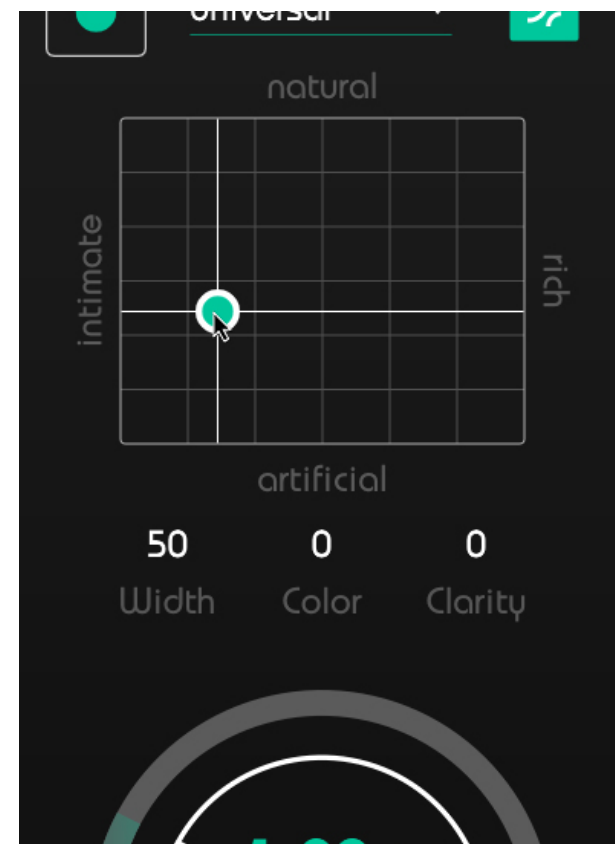
ナチュラル

ナチュラルなリバーブは、リバーブエフェクトが非常にまとまりやすく、控えめであるため、リバーブされた音が実際の環境で録音されたかのように聞こえます。このリバーブは、信号のキャラクターをあまり変えることなく、仕上げのタッチを加えることができます。アコース

ティック楽器やクリーンボーカルを扱う際に非常に効果的です。

アーティフィシャル

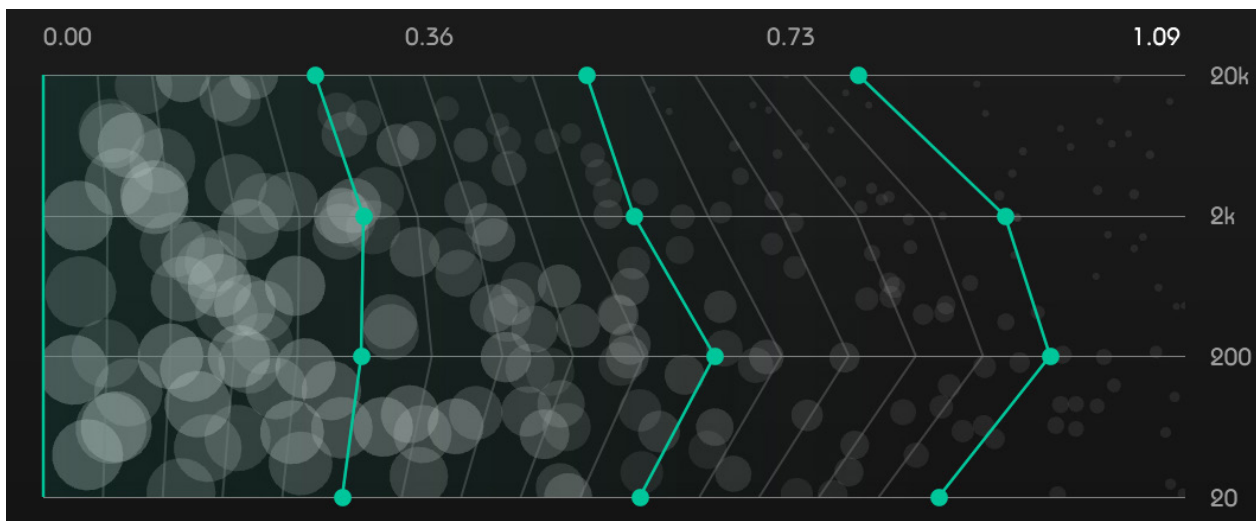
アーティフィシャルなリバーブは、実際の部屋をシミュレートすることを目的とせず、異なるリバーブ特性を利用して音を再生します。信号のキャラクターを意図的に変化させ、リバーブを明確なクリエイティブエフェクトとして使用したい場合は、アーティフィシャルが最適です。



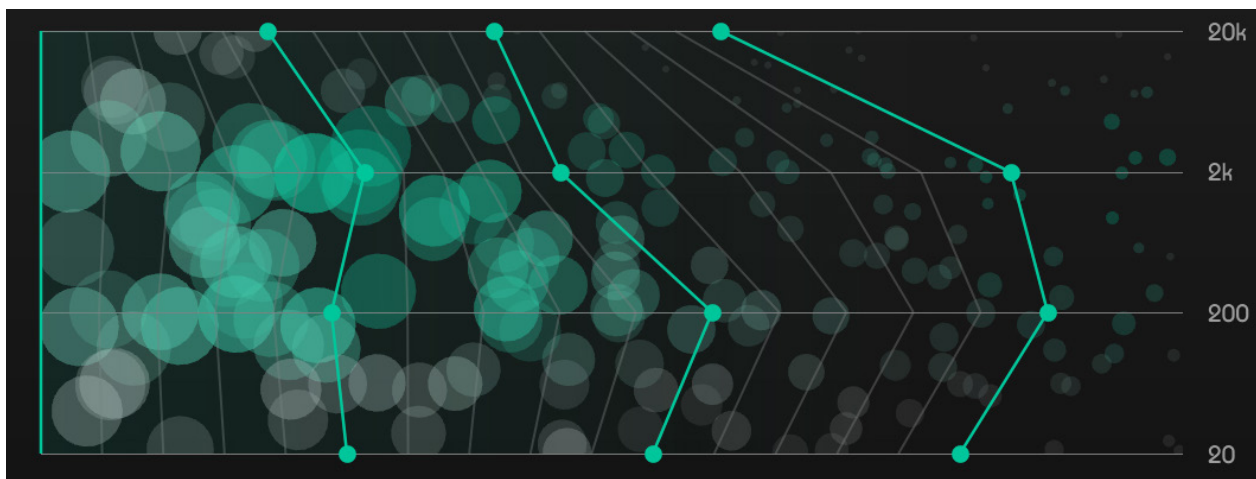
パーティクル表示

パーティクル表示は、リバーブの構造と、異なる周波数帯域における現在のリバーブのアクティビティを表示します。リバーブのパーティクル(粒子)は、リバーブのエネルギー、密度、構造を示しています。横軸はリバーブタイム(この軸の右端は現在のリバーブタイムを示します)、縦軸は異なる周波数帯域を示します。

オーディオが再生していない場合、パーティクル表示はリバーブの静的な構造を表示します。不透明で大きなパーティクルは潜在的なリバーブエネルギーが多いことを示し、透明で小さなパーティクルはリバーブレベルが低いことを示しています。



信号を流すと、リバーブパーティクルは入力信号によってトリガーされます。パーティクルのレベルと大きさは、リバーブコンポーネントのダイナミックなスペクトル特性を示します。

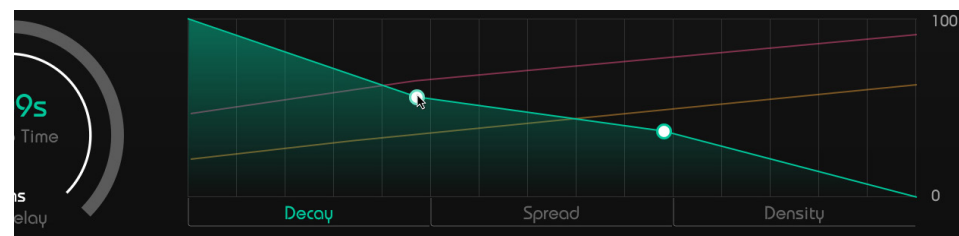


テンポラルシェイパー

テンポラルシェイパーでは、リバーブのディケイ(緑)、スプレッド(黄)、デンシティ(ピンク)の時間による変化をモニターすることができます。smart:reverbが現在の信号に対してカスタムリバーブマトリクスを作成した後、インタラクティブなポイントと線を使って3つの時間的なカーブを自由に形作ることができます。

ディケイ

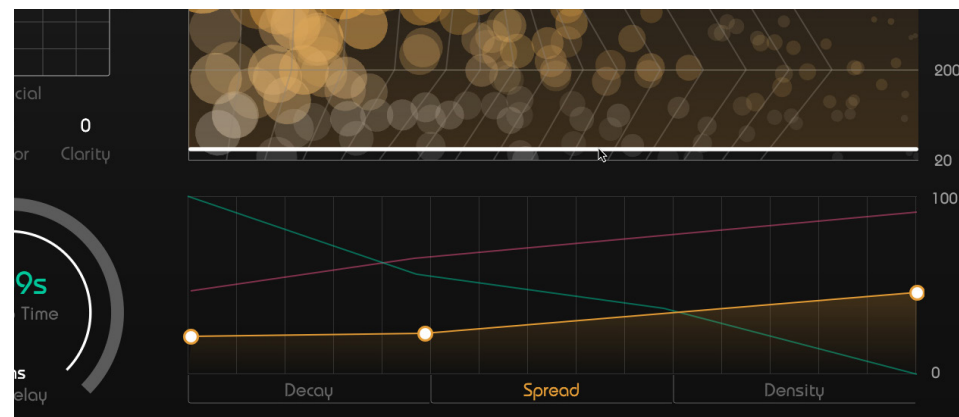
ディケイカーブは、リバーブのエネルギーが時間の経過とともにどのように減少または増加するかを示します。



スプレッド

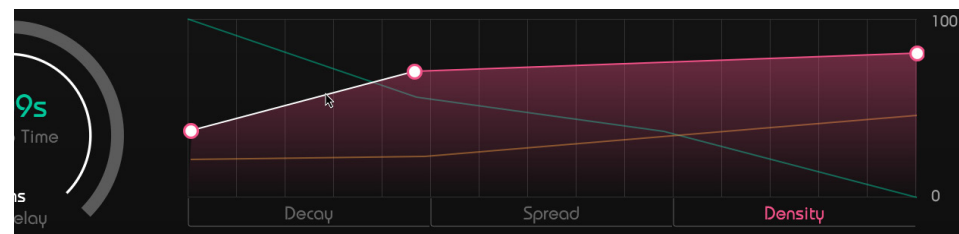
スプレッドカーブは、リバーブのステレオの広がりを時間的に表示します。このパラメータはグローバルな幅(Width)パラメータと似ていますが、広がりの時間的な変化をコントロールすることができます。

パーティクル表示内の線をドラッグすることで、影響を受ける周波数帯を制限することができます。



デンシティ

デンシティカーブは、リバーブの密度の変化を示します。



スペクトラルシェイパーグリッド

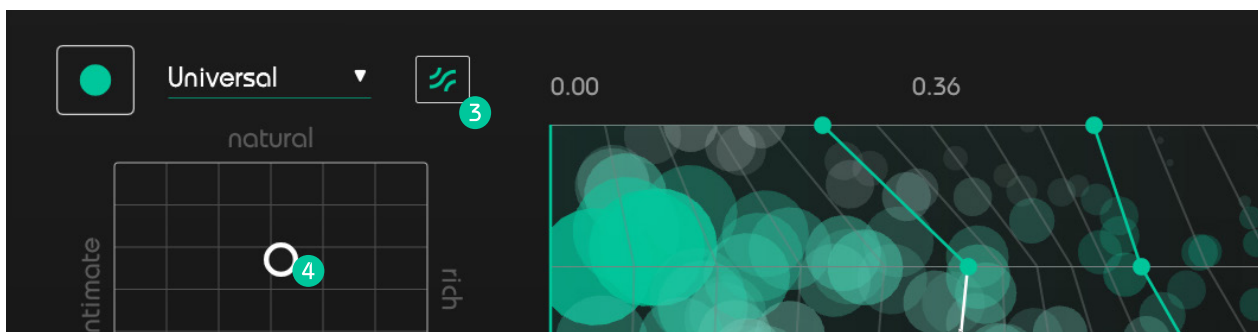
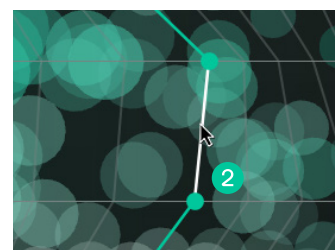
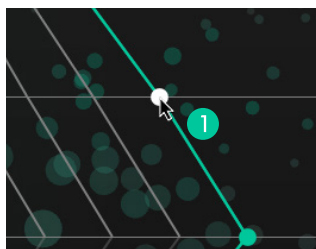
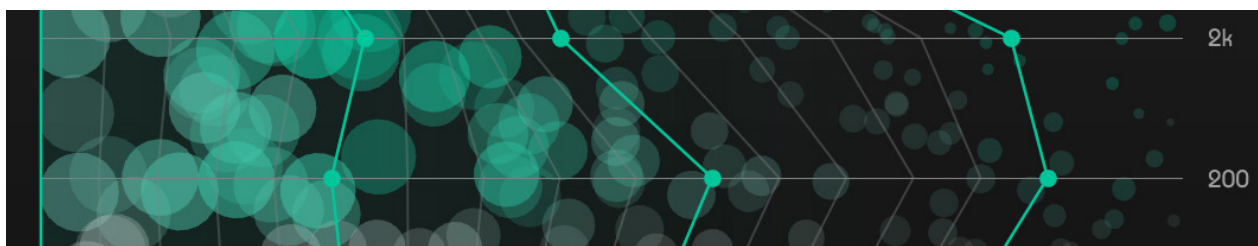
smart:reverbが現在の信号に対してカスタムリバーブマトリクスを作成すると(9ページ参照)、スペクトラルシェイパーグリッドが有効になります。このグリッドでは、インタラクティブなポイントと線を使用して、周波数範囲と時間によるリバーブのディケイ形状を調整することができます。

ポイントを①左に動かすと、対応する時間枠と周波数帯内のリバーブディケイタイムが減少します。また、2点間のディケイラインを選択すると、②両方の周波数帯を変化させることができます。

ディケイラインを変更しながら、リバーブの構造(パーティクル表示)がどのように変化しているかも確認することができます。

スペクトラルシェイパーグリッドやテンポラルシェイパーを使用してリバーブの構造を手動で変更した場合、計算されたパラメータスペースから離脱します。リバーブマトリクス内のポイントが白い円になり、③スマート状態ボタンが黒くなります。④

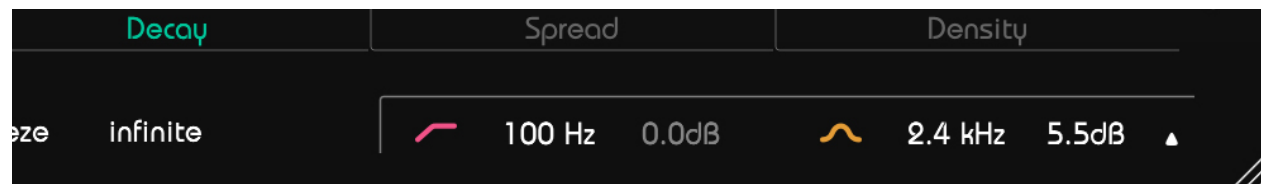
自動生成されたリバーブ設定に戻るには、スマート状態ボタンをクリックするか、リバーブマトリクス内のポイントを動かします。



プリフィルターEQ



プリフィルターEQは、2つのポイントでウェットシグナルをシェイプすることができます。5種類のフィルタータイプ(ベル、ハイパス、ローパス、ハイシェルフ、ローシェルフ)から選べます。ポイントをドラッグするか、テキストボックスに正確な値を入力することで、周波数とゲインを設定します。Q値は、スクロールするか、ALTを押しながら垂直方向にドラッグすることで変更できます。ピンクと黄色のアイコンをクリックして、フィルターを無効にします。



フィルターセクションが展開されていない場合も、周波数やゲイン値の変更や、フィルターのオンオフを切り替えることができます。

設定

設定画面は、プラグインの右上にある小さな歯車アイコンをクリックすることで表示されます。

1 デフォルトで100%ウェットシグナルを使用

ドライ/ウェットのデフォルトバランスを0/100に変更できます

2 ツールチップを表示

ホバー時のツールチップオンオフを設定します。

3 OpenGLを使用

GPUを搭載したグラフィック処理に対応できるようにします。OpenGLを使用しない場合、システム負荷が大幅に増加する可能性があるため、グラフィックに問題がある場合のみ、このスイッチを無効にすることをおすすめします。

4 匿名のユーザーデータを共有する

完全に匿名化されたユーザーデータをsonibleと共有し、smart:reverbの改善に役立てることができます。

これらのパラメータはすべてグローバル設定です。つまり、smart:reverbのすべてのインスタンスに(すべてのプロジェクトに)適用されることになります。



5 プラグイン情報

ここでは、プラグインの名前とバージョンを確認することができます。「show tutorial」をクリックすると、ウェルカムツアー)プラグインの機能を簡単に説明するツアー)を開始することができます。

6 更新のお知らせ

プラグインの新しいアップデートが提供されると、smart:reverbの設定ページに通知が表示されます。青いラベルをクリックすると、プラグインの最新版をダウンロードできます。

7 ライセンス情報

ライセンスの状態とナンバーを確認します(iLokを介してライセンスを取得していない場合)。



www.sonible.com/smartreverb

すべての仕様は予告なく変更されることがあります。

©2020, sonible GmbH. すべての権利を保有します。オーストリアの sonible社によって設計・デザインされました。